

2013年度第7回執行理事会議事録

期 日：2013年12月7日（土）10:00～12:30

場 所：北とぴあ 901会議室

出席者：石渡会長 ウォリス副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 高木 内藤 中澤 西 保柳 松田 山路 山本 松田議長 久田副議長（事務局） 橋辺

欠席者（委任状提出，未記入議場委任）：伊藤 平田 坂口 星 山口 井龍

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者12名，委任状6名，合計18名の出席。

*前回議事録を承認した。

I 審議事項

1. 各賞選考委員会各賞選考検討委員（10名程度）の推薦

指定委員

前・現会長：宮下純夫 石渡明

過去3年間の学会賞受賞者：岩森光 木村学 井龍康文 乙藤洋一郎

地質学雑誌 前・現編集委員長：小嶋智 山路敦

IAR 前・現編集委員長：（井龍康文） 前川寛和 伊藤真 海野進

*執行理事会推薦 専門を考慮して若干名選出（その後，下記2名の方に依頼し快諾を得た）

竹村厚司（兵庫教育），竹村恵二（京都）

2. 名誉会員推薦委員会階層別委員候補者の選出

・階層別委員候補者4名は，前年に引き続き以下の方々に承諾を得たので，理事会に諮ることとした。

官公庁：栗本史雄（産総研），小中校教員：小尾靖（相模原青陵高）

会社：松浦一樹（ダイヤコンサルタント），大学：竹内 誠（名大）

今後2年任期にするよう規約を変更することも検討する。

・理事会推薦委員1名：理事会にて選出

・職責委員（各支部長）7名

竹下 徹，川辺孝幸，伊藤谷生，原山 智，宮田隆夫，石田啓祐，小林哲夫

3. 国立公園地質リーフレットシリーズ，富士山・青木ヶ原たんけんマップの出版（保柳）

2013年3月12日に提出された「富士山・青木ヶ原溶岩一樹海にかくされた溶岩のひみつをさぐる」（小尾 靖，鈴木邦夫，高橋正樹，矢島道子）について，2名の査読者（三宅康幸会員，大野希一会員）により7月より査読がおこなわれ，11月20日に修正提出された原稿について企画出版委員会として出版可能な原稿に仕上がったと12月4日に判断した。

大野会員からは，より抜本的な修正要求もあったが，企画出版委員会としては，概ねの修正はされたとして，これで進めることにした。出版するというところで，理事会の議題とするが，執行理事会としては以下の意見をつけて，理事会審議に付す。著者らにはこれらの意見をつけて改善を要求する。

「探検マップのテーマに沿って，富士山の写真にすべき。ハワイの写真の方が多いいのは問題。

ハワイのガイドではない。ハワイのような物が富士山で見られるような誤解を与える。マップの場所がわかりづらい。スコリアの積み重なりなど富士山で見られるものにすべき，用語解説も富士山を主に，ハワイを従にする，場所をわかりやすくする」

4. 来年度の事業計画基本方針（案）について

会長案に対し執行理事会の修正を加えた案を元に，理事会で審議。

5. 総会の出席率を高めるための催しの検討（斎藤理事）

地質学会の将来問題を検討するシンポジウムを行う（中期ビジョン検討委員会の検討も踏まえて）

6. 2015年信州大会の会場について（保柳）

松本では会場が分散し，やや厳しいが，やれないことはなさそう，とLOCから報告された。今後の手続きとしては，さらに工学部での可能性を調べる（LOCで，中部支部として他大学での開催の可能性も検討してもらうこととした。

7. 理事会の議案確認

8. その他

1) 電子出版「ジオパークを楽しく」の価格について この件は，坂口理事に一任し，著者の了解を取って出版を早急に進めることとする。

2) 「共立スマートライブラリー」の出版企画の協力要請について，

共立出版株の横田穂波氏が来訪し，説明を受ける。本企画は科学全体を網羅したもので，地質学会として地学関係の企画・立案の協力を得たいとのこと。企画としては，トピック的テーマ・先端的テーマ・従来からのテーマなど，どのようなものでもよく，いまのところ地学関係から4～5テーマ程度を考えているとのこと。出版はそれほど急いでいるものではない。

学会としては，以上の要請を受け，理事会で議論を進めることとする。地質学会としては，できそうなテーマをたくさんあげ，最終的な採否の調整を共立とともに検討して決めるという段取りを踏む。

II 報告事項

(1) 全体的報告

1. 第49回東・東南アジア地球科学研究計画調整委員

会 (CCOP) の年次総会の報告資料を回覧。

(2) 運営財政部会：総務委員会 (西・山本)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 公社 日本アイソトープ協会より, 第51回アイソトープ・放射線研究発表会の共催申し入れを承諾。運営委員として, 前回に続き山口耕生理事 (本人承諾) を推薦。
2. 環境地質部会より共催報告: 第2回人口地層と地質汚染国際シンポジウム (主催 IUGS-GEM 日本支部, IUGS-GEM 人口地層と地質汚染 WG, 山形大学) 12/1-12/4
3. 高校生科学技術チャレンジ I S E C 2013 最終審査会・表彰式の案内 (12/7-8) →欠席返事
4. 三菱財団平成26年度助成金公募 (2014/1/7-2/4) →geo-flash, HP, News に掲載
5. 日本水環境学会より第59回セミナー「水道水源の新たな水質危機と対応の最新動向」(2014/02/03) の案内→geo-flash, HP, News に掲載
6. シンポジウム「海底下の炭化水素資源・炭素循環と地球生命工学」(世話人: 稲垣史生 ほか) 2014/01/24 の案内→geo-flash, HP, News に掲載

<会員>

1. 今月の入会者 (3名)
正会員 (1名): 箆島聖二 (2014年度から入会)
正 (院割) 会員 (2名): 坂野慎一, 細野貴裕 (2人とも2013年度から入会)
2. 今月の退会者
なし
3. 今月の逝去者 (正会員 7名)
小針弘通 (逝去日: 2005年6月18日)
南里宗弘 (// : 2011年6月15日)
大庭昇 (// : 2013年6月26日)
西澤徳雄 (// : 2013年8月7日)
4. 2013年11月末日会員数
賛助: 27 名誉: 67 正会員: 3903 (正会員: 3689, 正 (院割) 会員: 196, 正 (学部割) 会員: 18) 合計 3997 (昨年比-89)

<会計>

- ・2013年度11月までの収支報告
- ・学術著作権協会より2013年度複写使用料の分配使用料78,072円が送付された。
- ・鹿児島大会巡検旅行見積りの確認。旅行委託先は, 現地実行委員会に任せることとした。

(3) 広報部会：広報委員会 (内藤・松田)

- ・ジオルジュ2013年後期号を刊行, 誤字, 脱字があるので, 今後気をつける。
- ・「地質学者に答えてもらおう」, の回答が滞っているので, 早急に進める。

(4) 学術研究部会：行事委員会 (星)

審議事項の通り

(5) 学術研究部会：国際交流委員会 (井龍)

(6) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会 (山路)

1) 編集状況報告 (12月3日現在).

- ・2013年度投稿論文 総数73編 [論説36 (和文35 英文1)・総説8 (和文8)・報告5 (和文5)・ノート2 (和文2)・討論2・口絵8 (和文7, 英文1)・巡検案内書12] 査読中25編 受理済み2編
- ・119巻12月号: 論説3, ノート1 (計約55頁 校正中)
- ・新規特集号1件の申込を受付けた. 間もなく投稿開始予定.

タイトル: 「地層処分と地球科学 (仮題)」世話人: 吉田英一 (名大)・高橋正樹 (日大)・梅田浩司 (原子力研)・渡部芳夫 (産総研)

(7) 編集出版部会：Island Arc編集委員会 (伊藤)

- ・編集状況報告
- ・2014年度より編集副委員長の交代 (現 原英俊→新 板木拓也, 新年度より)

(8) 編集出版部会：企画出版委員会 (山口・保柳)

- ・富士・青木ヶ原たんけんマップの校閲終了, 理事会に対し出版の提案をする。
- ・国立公園地質リーフレットたんけんシリーズ「長瀬たんけんマップ」(代表 高木秀雄) の企画書が11月20日付けで提出された. 企画については了承された. 原稿はまだでていない。
- ・電子出版「ジオパークを楽しく」の出版準備が整い, 販売価格が決まればすぐにもキンドルブックに掲載可能。

(9) 社会貢献部会 (高木・平田・中澤・保柳)

- ・2013年秋季地質調査研修会 (11/18-22, 講師 徳橋秀一・副 納谷友規) は, 参加者6名で無事終了した。

(10) ジオパーク支援委員会 (高木)

(11) 地学オリンピック支援委員会 (平田)

- ・12月15日に実施予定の「第6回日本地学オリンピック予選」に, 昨年の1011名を大幅に上回る1689名の応募があった. 背景には, 地学基礎開始の影響, 全国の高校の地学の先生をはじめとする地学関係者のご助力, 三重県での2016年日本大会開催が大きく作用したのではないかと考えられる。
- ・日本地学オリンピック予選実施に際して, 大学や博物館の会員には地区コーディネーターとして広報や試験監督業務など, 高校や中学の教員の会員には会場校の引きうけ, 生徒への応募を呼び掛けしてもらっている。

以上

2014年2月1日
一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 石渡 明
署名人 執行理事 斎藤 眞